

## 【概要】

### 2016年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第1回)

#### I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについて、インターネットによるアンケート調査を2016年10月に実施し、その結果を取りまとめたものです。  
(回答数:1,500件)

#### II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

##### 1 「変動型」の希望割合が増加し、「固定期間選択型」及び「全期間固定型」の希望割合が減少<p. 3>

- ・「変動型」は29.5%(前回調査:28.8%)と増加
- ・一方、「固定期間選択型」は37.8%(前回調査:38.1%)、「全期間固定型」は32.7%(前回調査:33.1%)と減少

##### 2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、全体では「現状よりも上昇する」、「ほとんど変わらない」が増加<p. 4>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は、「現状よりも上昇する」が27.7%(前回調査:21.2%)、「ほとんど変わらない」は、44.7%(前回調査:34.6%)と増加。「現状よりも低下する」は9.4%(前回調査:22.9%)と減少
- ・「見当がつかない」の割合は、18.2%(前回調査:21.2%)と減少

##### 3 住宅の買い時意識が上昇<p. 7>

- ・今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思ふ方の割合は、44.1%と前回調査(42.5%)より増加
- ・住宅取得のチャンス(買い時)だと思ふ理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が86.1%(前回調査:79.4%)、「消費税率引上げ前だから」が34.9%(前回調査:36.9%)と大半を占める